

石川工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	実践英語(Speaking)
科目基礎情報					
科目番号	20085		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	電子情報工学科		対象学年	5	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	Michael McCarthy, Jeanne McCarten, Helen Sandiford 「TOUCHSTONE Second Edition Student's Book 4」 (Cambridge University Press)				
担当教員	マシュー フィン				
到達目標					
1. コミュニケーション活動に必要なとなる基本的な語彙や慣用句的な使い方を理解し、実際に活用できる。 2. 規則に基づいた文法構造を理解し、実際に活用できる。 3. 限られた長さの読解文または聴解文、会話において、主旨、目的、基本的な文脈が理解できる。 4. 複数の情報の関連づけを行うことができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
到達目標 1	コミュニケーション活動に必要なとなる基本的な語彙や慣用句的な使い方を幅広く理解し、実際に活用できる。	コミュニケーション活動に必要なとなる基本的な語彙や慣用句的な使い方を概ね理解し、実際に活用できる。	コミュニケーション活動に必要なとなる基本的な語彙や慣用句的な使い方を理解し、実際に活用することが困難である。		
到達目標 2	規則に基づいた文法構造をよく理解し、実際に活用できる。	規則に基づいた文法構造を概ね理解し、実際に活用できる。	規則に基づいた文法構造を理解し、実際に活用することが困難である。		
到達目標 3	限られた長さの読解文または聴解文、会話において、主旨、目的、基本的な文脈が詳細まで理解できる。	限られた長さの読解文または聴解文、会話において、主旨、目的、基本的な文脈が理解できる。	限られた長さの読解文または聴解文、会話において、主旨、目的、基本的な文脈を理解することが困難である。		
到達目標 4	複数の情報の関連づけを正確に行うことができる。	複数の情報の関連づけを概ね正確に行うことができる。	複数の情報の関連づけを行うことが困難である。		
学科の到達目標項目との関係					
本科学習目標 1 本科学習目標 3 創造工学プログラム C1					
教育方法等					
概要	実践英語は習熟度・目的別にスピーキング、リスニング、リーディングの3コースに分け、各技能のレベルアップに重点を置いた取り組みを通し、さまざまなシーンに必要な基本的語彙力、文法、会話のやりとりなどの基本重要事項の確認および定着学習を行う。これらの演習を通じて幅広い視点から自らの立場を理解し、社会や環境に配慮できる思考、および国際社会を多面的に考えることができる教養と語学力を培う。				
授業の進め方・方法	【事前事後学習など】 適宜課題を課す。 【関連科目】英語講読Ⅲ				
注意点	・各コースの内容に応じた小テストを行う。 【評価方法・評価基準】 後期中間試験、学年末試験を実施する。成績の評価基準として60点以上を合格とする。 中間試験 (30%)、学年末試験 (30%)、小テスト・課題 (40%)				
テスト					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス, Unit1 Interesting lives	人生について語るときの表現を理解する	
		2週	Unit2 Personal tastes	ファッションに関するやりとりを使う表現を理解する	
		3週	Unit3 World cultures	自国の伝統文化について語るときの表現を理解する	
		4週	Unit4 Socializing	社交に関するやりとりを使う表現を理解する	
		5週	Unit5 Law and order	法律や規則に関するやりとりを使う表現を理解する	
		6週	Unit6 Strange events	未知の体験、偶然の出来事、迷信に関するやりとりを使う表現を理解する	
		7週	まとめと復習	Unit1-Unit6で学んだ表現に対する理解を深める	
		8週	Unit7 Problem solving	問題解決のためのやりとりを使う表現を理解する	
	4thQ	9週	Unit8 Behavior	自分や他者がとった行動について語るときの表現を理解する	
		10週	Unit9 Material world	所有物やお金の使い方について語るときの表現を理解する	
		11週	Unit10 Fame	著名人の名声について語るときの表現を理解する	
		12週	Unit11 Trends	世の中の動向について語るときの表現を理解する	
		13週	Unit12 Careers	仕事選びやキャリア計画に関するやりとりを使う表現を理解する	
		14週	まとめと復習	Unit7-Unit12で学んだ表現に対する理解を深める	
		15週	後期復習	まとめの問題に取り組み、理解を深める	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	試験	小テスト・課題	実力試験	合計	
総合評価割合	60	40	0	100	
基礎的能力	60	40	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	